

基本設計の基本的な方向性（案）

1. 独自性

【基本計画】

外観については両館の独自性が充分表現されるよう配慮する。

両館の間に中庭を設けた独立した形状とするとともに、外壁については、国立公文書館は石、憲政記念館はガラスを基調として、両館の独自性を表現する。なお、両館ともに内装に木材を取り入れる。



両館西側外観

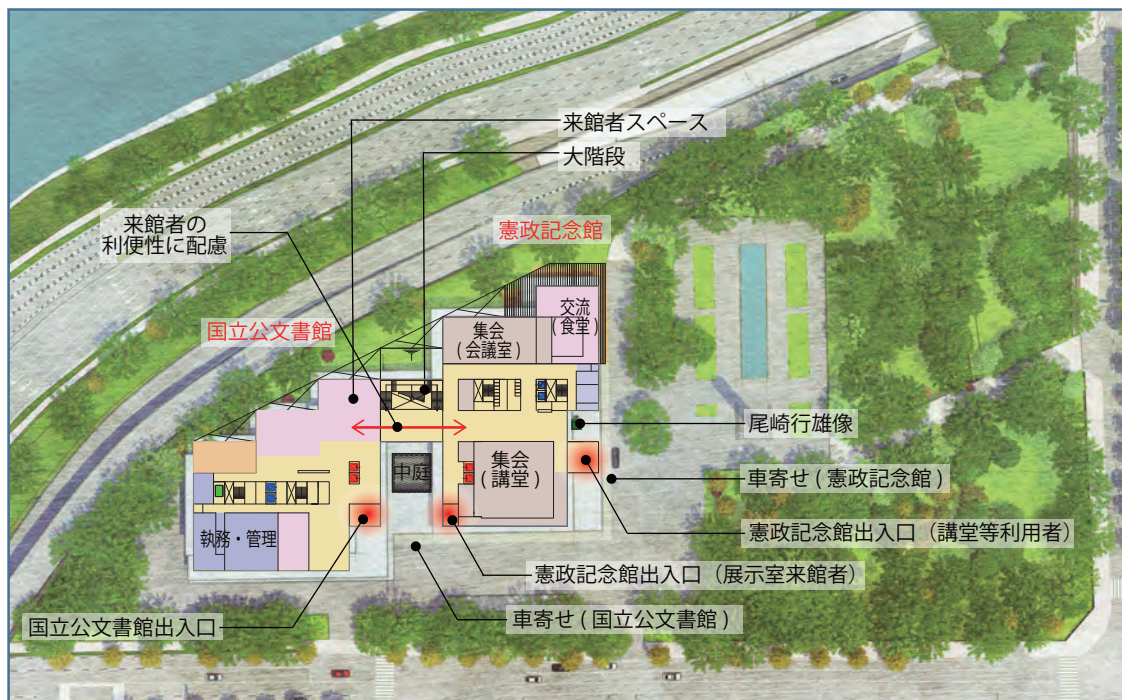
※現時点のイメージであり、今後の詳細検討により決定するものである。

2. 合理性及び利便性

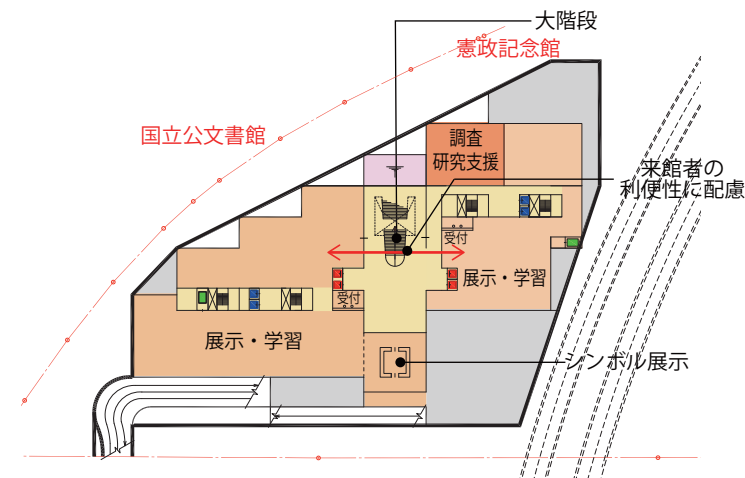
【基本計画】

全体として合理的な施設とするとともに、来館者の利便性向上を図る工夫を行う。

食堂、来館者スペース等を共用として合理的な施設とするとともに、共用部分は両館から利用しやすく配置する。



配置・1階平面計画図



地下1階平面計画図

※現時点の計画であり、今後の詳細検討により決定するものである。